

# 地震・雷・火事・親父 (ニュースレターのタイトルです)



## ハイライト

- ・ 地域の力「みんなの掲示板」始まります。



清々しい爽やかな季節を迎えました。日頃より弊社サービスをご利用頂き、ほんとうにありがとうございます。不定期便ですが、「火災一斉メール」や「見まもりビーコン」のご利用者様に便利な使用法や弊社での出来事などお伝えしたく、ニュースレターをお送りさせて頂きました。

## ● 地域の力「みんなの掲示板」始まります。

さて、同封の「地域 みんなの掲示板」を10月17日(水)から運用を開始させて頂きますのでご案内を申し上げます。

施設職員で災害時に情報を共有する「災害掲示板」を本年7月から開始させて頂きましたところ、多くの方からご意見をいただきました。そのご意見やご要望にすべてお応えしようと開発を進めたのがこの「みんなの掲示板」です。

毎年のように起こる予想を超えた地震や風水害などの自然災害、特に地震発生では電話連絡も取りにくくなります。また高齢者の行方不明が年間1万5千件も発生し、地元地域で行方不明が発生した場合など単独施設内だけの情報共有だけでは解決が難しいものです。

そこでいつもお使いいただいている「火災一斉メール」の機能をさらに拡大し、地域の複数施設で緊急情報を共有できる掲示板を作りました。まさに「地域の力」「地域の安心」となる掲示板だと思います。

事務局は、この「みんなの掲示板」への申込みをいただきますと、まず同じ地域(主に自治体単位)の火災一斉メールご使用施設様に掲示板へのご参加をお声がけいたします。次に同じ地域の介護施設・病院へご参加をお声がけいたしたいと思えます。少し時間はかかりそうですが地域連携や無理のない地域貢献の方法として、粘り強く説明活動を続けたいと思えます。

ご存じの通り、世間では施設内の連絡用メールシステムはたくさん提供されています。しかし地域施設の連携を目的としたもの、地域貢献を目的としたものは皆無です。特に頻繁に起こる高齢者の行方不明の発生。検索情報をいち早く地域職員に配信し、発見・保護を早期に行う地域社会作りは、今後の日本には欠かせないものと思われま。

「地域の施設が、みんなで取り組むのは難しい」とお考えの方も多いと思えます。しかし最初は少数でも先進的な施設でスタートし、少しずつその数を増やせば大きな流れができます。弊社も微力ですが全面協力いたします。是非ご検討下さい。

今回も最後までお目通し頂き、ありがとうございました。心地よい秋風に身をまかせ、のんびりできるのがまた遠のいた気がしてなりません。

文章作成・お問い合わせ先  
担当者 加藤初徳(はつり)でした。